

## 天塩町地域おこし協力隊 2020年10月～12月活動報告

### 地域プロデューサー 久保 綾香

#### 【地域おこし協力隊退任のご挨拶】

この度、2年9ヶ月間務めさせて頂いた地域おこし協力隊を、2020年12月末日をもって退任致しました。この場をお借りして、今までお世話にました天塩町や近隣地域の皆さまに心より感謝申し上げます。天塩町で充実した時間を過ごすことができたのは、何よりも周りで支えて下さった皆さまのおかげです。今後もさまざまな形で天塩町の皆さまと繋がっていられば大変嬉しいです。

久保 綾香

---

10月～12月は以下の4つの活動を行った。

1. ダンス指導
2. イベント・町内事業等の実施・実施支援
3. イベント・セミナー・研修等を通じた情報収集
4. その他

各項目の具体的な内容については以下の通り。

#### 1. ダンス指導

10月から12月にかけて、天塩町のストリートダンスサークルでダンス指導を行った。新型コロナウイルスの感染予防対策などを行いながら、その時の状況に応じてレッスン開催の可否を都度検討し実施した。

#### 2. イベント・町内事業等の実施・実施支援

天塩町の以下の事業の実施支援を行った。

- 「天塩町公認インスタグラマー」事業の食材調査・提案等（11月末）【実施支援】

町が実施している地方創生事業の1つである「天塩町公認インスタグラマー」事業にて、提供する食材の内容や調理法等についての調査や、公認インスタグラマーのナヲ氏（Instagramアカウント名：nwosz）への提案を通じて事業の実施支援を行った。今回の天塩町食材を使った料理は2020年12月13日のナヲ氏の投稿で見ることができる。



ナヲ氏の天塩町食材を使った料理の投稿トップ

### 3. イベント・セミナー・研修等を通じた情報収集

参加したイベントやセミナー、研修等は以下の通り。

- 「地域おこし協力隊 定住に向けた企業支援セミナー」への参加@東京 (10/1・2)
- 「北海道アドベンチャートラベルミーティング@白老」への参加@オンライン (10/6)
- ウェブセミナー「第1回 観光に携わる女性をつどい」への参加@オンライン (10/12)
- 「北海道アドベンチャートラベルミーティング@ニセコ」への参加@オンライン (10/13)
- ウェブセミナー「緊急企画！動き始めた観光、今我々はどう備えるべきか？/with コロナ時代の観光戦略 番外編」@オンライン (10/16)
- 「日本語学習支援者養成講座」への参加@稚内市 (10/18・10/25・11/1)
- ウェブセミナー「緊急企画！動き始めた観光、今我々はどう備えるべきか？/with コロナ時代の観光戦略 番外編」への参加@オンライン (10/16)
- 「ONSEN ガストロノミーウォーキング@豊富町」への参加 (10/24・25)
- 留萌管内インバウンド対策会議への参加@羽幌町 (10/28)
- ウェブセミナー「JNTO マーケティング研修会」への参加@オンライン (11/13)

### 4. その他

- 野鳥調査への参加@天塩町内 (10/31、11/14)
- 天塩高校での進路学習授業への講師としての参加 (11/9)
- 北海道庁主催「北海道とつながるカフェ」へのゲスト講師としての参加 (11/30)
- 「留萌管内協力隊ネットワーク」地域おこし協力隊活動報告会の開催・参加@留萌市 (12/7)
- かわまち SNS 分科会への参加@天塩町役場 (12/10)
- 北星学園大学短期大学部 オンライン授業での講師としての参加「海外での経験を地方で活かす」(12/15)
- 総務省主催「地域おこし協力隊・関係人口ミニサミット」へのパネラーとしての参加@オンライン (12/18)

天塩高校の1・2年生を対象とした進路学習授業に講師として参加した。これまでの海外留学や大学院での海外実習、海外開発コンサルティングの仕事、天塩町地域おこし協力隊での活動の経験などを紹介しながら、外に目を向けることの大切さやそこから得られるもの、今後の進路選択の考え方などを自身の経験をベースに講義を行った。

「留萌管内協力隊ネットワーク」の地域おこし協力隊活動報告会では、同ネットワークに所属する留萌管内市町村の地域おこし協力隊員が、それぞれの活動内容や今後の予定、新しく着任した協力隊員に関してはこれまでの経験や着任の経緯、今後の活動予定等についての発表を行った。また、今後のネットワーク運営についての協議も含めた意見交換会が行われた。

北星学園大学でのオンライン授業では、増毛町の元地域おこし協力隊の嘉門氏とともに、海

外で培った経験をどのように地方で活かしているか、また、地方にいながらも自分次第で海外とつながる可能性があることについて講義を行った。本授業は学生の視野を広げたり、キャリア形成について考えてもらうためのもので、さまざまな仕事や活動をしている方を毎回ゲスト講師として招き、講義を行う。講義に参加した学生は約 140 人。

総務省主催の「地域おこし協力隊・関係人口ミニサミット」では、海外での経験を地方でどのように活かして活動しているか、また道北地域の地域おこし協力隊ネットワークでの活動や協力隊員同士のつながりやネットワークについて、パネルディスカッション形式で発表した。

別添資料 自身の活動に関するメディア掲載等

**「感じたものを大切に」**  
協力隊員 天塩高校で生徒に講話  
 天塩 天塩高校（産部 秀治校長）の進路ガイダンス



天塩高校の進路ガイダンスで講話する町地域おこし協力隊の久保さん

スガが、同校体育館で開かれた。町地域おこし協力隊の久保綾香さんが、海外留学などの経験に基づいた講話を行い、生徒たちが進路の参考にした。進路ガイダンスは生徒の進路意識向上などを目指す。1、2年生合わせて84人を対象に実施した。久保さんは、東京都内の高校在学中に学んでいたストリートダンスを本場のアメリカで学びたいとの思いから、語学留学ができる大学に進学した。プロジェクトを使って写真などをスクリーンに映しながら、「インドや中国など、さまざまな国籍の人との触れ合いから言葉や文化の違いを学ぶ。帰国後は、国際関係を専攻して猛勉強中。アフリカの悲惨な現状を知り、何とかしたいという使命感を持った」と語り、大学院へ進み青年海外協力隊として現地を助けたこと、海外開発ユニバーシティへの就職を経て、海外に向けた特産品PRや若い世代へのグローバル教育など天塩町の取り組みに興味を持ち、協力隊員になったことを説明。これまでの経験を振り返り「自分のワークや興味に身を任せてきたが、進んで先で予期しない化学反応が起き始まってきた。人との出会いやつながりは自分の可能性を広げる。まだ自分のやりたいこと、目標が決まっても焦らないでほしい。思った通りになくても、そでしか得られないものがある。自分がこれかと思ったり、感じたものを大切にしていってほしい」と訴えた。生徒たちは、進路の参考にしたと、久保さんの講話に熱心に聞き入っていた。（畠田康一郎）

2020年11月13日（金）日刊留萌新聞に掲載

**海外の体験 仕事の魅力 協力隊員が講義**

【天塩】町の地域おこし協力隊員 久保綾香さんが、北星短大英文学科1年生130人を対象に町役場からオンライン会議システム「Zoom（ズーム）」を活用した講義を行った。海外体験と3年間にわたる協力隊員としての充実した毎日を語った。久保さんは群馬県出身。大学院修了後、海外の援助活動に関するコンサルティング会社勤務を経て、天塩町の協力隊員に就任した。インタビューを通じて、地元の魅力や英語で発信したり、オーストラリアの学生と町の交流事業を担ったりする一方、子供たちにダンスを指導している。また留萌管内協力隊員ネットワーク代表も務めている。

15日に行われたズームでの講義で久保さんは人とのつながりを大切にしながら積み重ねてきた活動を紹介。「海外だけでなく地方でも、同じくらいエキサイティングな毎日です。地方にいても、やりたいことはたくさんあり、チャンスは必ずつかめます」と、学生たちに語った。また、増毛町の元協力隊員で現在は地元で就農している霧門宏美さんも増毛から講義に参加。「地方にいても、外国人に地元の魅力を紹介する機会はたくさんある」と語った。学生からは「2人が海外で得た経験を地域で生かしていることに感銘を受けた。小さい町だからこそ、自分の可能性が広がるということを実感した」「コロナ禍で自宅にいてもできることはあるので、今の時間を大切にしようと思った」との声が寄せられた。（高橋力）



北星短大の学生130人を対象にオンラインで講義する久保綾香さん

2020年12月18日（金）北海道新聞 留萌・宗谷版に掲載

以上